

湖や河川の状況を高画質の映像で詳細にチェック

河川統合監視システム —— 建設省霞ヶ浦工事事務所 様



茨城県行方郡の潮来町に位置する建設省霞ヶ浦工事事務所

霞ヶ浦周辺の再開発プロジェクト事業の一環として、建設省霞ヶ浦工事事務所では、新たに敷地内に情報センターを整備し、通常の河川監視および台風などの災害時における緊急体制にも素早く対応できる『河川統合監視システム』を採用しました。当事業部では、システムの中核となる衆人監視システムを納入しています。

施 主：建設省
 納 入 先：霞ヶ浦工事事務所
 所 在 地：茨城県行方郡潮来町
 納入年月：1996年(平成8年)3月
 納入会社：松下電器産業株式会社
 官公需営業本部



システムの概要

霞ヶ浦や近隣の河川(おもに常陸川)の様子を映し出したカメラ映像を、工事事務所内の高精細ビデオプロジェクター、および9面マルチモニターなどに表示。水質汚染の状態の確認や、災害時の状況の把握などに有効に活用されます。霞ヶ浦の湖心や周囲に設置されたITVカメラは、1台あたり最大12箇所までのプリセット監視が可能。また、鉄塔や河川の水門に設置されたITVカメラには回転台が装備され、回転動作やズームなどの遠隔操作ができるので、重要ポイントを詳細に確認可能です。それらの操作は、事務所内のタッチパネル式の操作卓でおこなえ、見たい場面を簡単な操作でチェックすることができます。



周辺の環境を見守るため地上70mの地点に設置されたITVカメラ



霞ヶ浦周辺の様子を事務所内で詳細にわたりチェック



映像情報などの操作はすべて操作卓のタッチパネルで実行

システムの特長

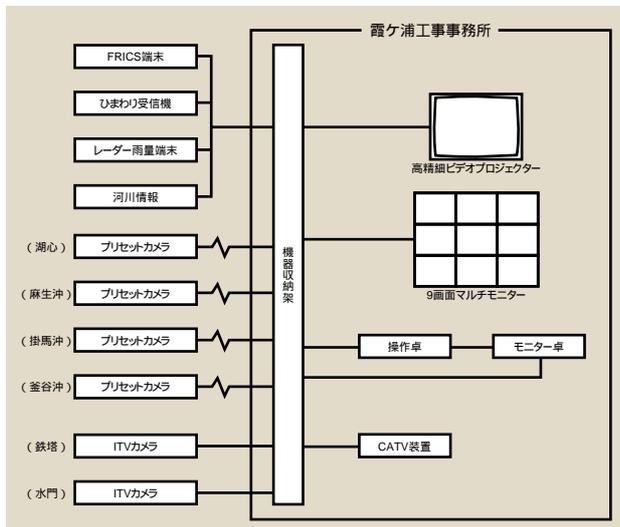
高解像度カメラの採用で、湖面の色、状況、また周辺の様子などを鮮明な映像でチェックできます。

高解像度カメラの採用により、霞ヶ浦周辺の様子はもちろん、湖面の色や状況までを光伝送装置を中継して、鮮明な映像で事務所のモニターに送れます。事務所にいながらにして、湖面の状況が確認でき、水質汚染の進行状態を把握できます。また、万一の災害時の迅速な周辺のチェックにも対応します。

プリセットカメラと回転式カメラにより、重要ポイントの詳細な監視がおこなえます。

霞ヶ浦の湖心や周囲(麻生沖、掛馬沖、釜谷沖)のカメラにはプリセットカメラを採用し、周辺の重要監視ポイントをあらかじめプリセット(登録)ボタンひとつで見たい場所を確認することが可能です。また、霞ヶ浦一体や近隣の河川を監視するカメラ(鉄塔や水門などに設置)は、回転台やズームの動きを遠隔

システム図



操作で制御できるので、事務所内で重要ポイントの詳細な監視がおこなえます。

タッチパネル入力により、簡単操作で見たい場面の確認が可能。

カメラからの映像や外部からの情報(ひまわり、レーダ雨量など)は、事務所内に設置された高精細ビデオプロジェクターおよび9画面マルチモニターに表示。その際のカメラの制御や表示情報の選択などは、すべて操作卓モニターのタッチパネル入力でおこないます。ガイダンスにしたがって画面に触れるだけの簡単操作なので、容易に見たい情報の選択が可能です。



分割画面や大画面など状況に応じた表示がおこなえる9画面マルチモニター



おもに湖面の様子を映し出す高精細ビデオプロジェクター

おもな納入機器

プリセットカメラ	4台
ITVカラーカメラ	2台
タッチパネル操作部	1式
静止画伝送装置	1式
光伝送装置	1式
ビデオプロジェクター	1式
9画面マルチモニター	1式
など	



伝送系の機器がまとめられた事務所内の収納ラック